

6 新卒訪問看護師向けOJT評価シート
1) 新卒訪問看護師向けOJT評価シート 記入手引き

新任訪問看護師の達成目標		目標時期					評価の視点	目標・方策の方向性
		1~3か月	3~6か月	6~12か月	12~18か月	18~24か月		
訪問看護師としての基本的能力								
訪問看護ステーションの一員として働くことができる								
1	基本姿勢	就業上のルールを守る	○				・就業時間を守っているか ・就業規則を理解し、必要な書類を提出しているか	・挨拶や報告・連絡・相談する習慣など、訪問看護師として身につけるべき態度を養う
2		訪問看護の目的・サービス内容を理解する		○			・訪問看護サービスの目的や役割、機能、サービス内容について理解しているか(簡潔に説明できるか)	
3		職場の雰囲気を良好に保つよう行動する	○				・明るく挨拶しているか ・先輩や上司を尊重した態度で接しているか	
4		訪問看護に対する関心が継続する			○		・訪問看護師として働くことについて継続の意思を語っているか ・訪問看護に関する記事や報道等に興味を示しているか	
5		効率的で安全な訪問スケジュールを立てることができる			○		・感染予防等を考えた訪問順や経路をとっているか ・利用者の病状や医療処置に適した安全な物品や方法を選択しているか	
6		自分の心身の状態変化に気づき、状態に応じて速やかに対処する	○				・健康診断を受けているか ・健康づくりを心掛けているか ・健康状態に不安を感じたときは速やかに対処しているか	
7		事業所の理念・活動目標を理解する	○				・事業所の理念・活動目標を理解する	
8	基礎知識	基本的な医療保険、介護保険等の制度の仕組みを理解する	○				基本的な医療保険、介護保険等の制度の仕組みを知る	
9		訪問看護の報酬体系、利用者負担等について理解する			○		訪問看護の報酬体系、利用者負担等について理解しているか(簡潔に説明できるか)	
10		地域の交通機関の利用方法、道路事情、訪問先の目印などを把握する	○				・活動地域の複数の移動方法について言えるか ・目的所周辺の主要施設(学校、警察、消防署、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公衆トイレ、駐車場等)などの所在を把握しているか	
11	連携・相談	同僚・管理者と円滑なコミュニケーションをとることができる	○				・個別の業務に関する報告・連絡・相談に限らず、自分自身のことや事業所のことなど、管理者や看護職員と日常的にコミュニケーションをとることができるか	・事業所の一員として、他の職員に話しかけたり、円滑なコミュニケーションをとれる関係をつくる
12		日々の看護活動について、同僚・管理者に常に報告・連絡・相談する	○				・日々の看護活動について、管理者や看護職員に報告・連絡・相談することができるか	
13		一人で判断が困難な問題に関して、同僚・管理者に速やかに相談する	○				・一人で判断が困難な問題に関して、同僚や上司等に速やかに相談することができるか	
14		チームとしてケアを提供していることを他者に説明する			○		・チームとしてケアを提供していることを他者に説明できているか ・同僚・先輩と必要な情報交換ができているか	
15		管理者や先輩、同僚の支援が必要か判断し、支援を求める	○				・気がかりなことについて管理者や先輩、同僚に気軽に話しているか ・支援の必要性を判断し、必要時に支援を求めることができるか	
16		事業所内各職員の役割を把握しているか			○		・チームの一員であることを念頭においているか ・事業所内での看護職、他職種を理解しているか	
17		利用者・家族の問題に気付いた場合には、同僚・管理者に速やかに相談する			○		・気付いた利用者・家族の問題を全て所内の看護職員に報告しているか ・報告の時期は適切か	
18	環境整備	訪問看護ステーション内の物品を整備・補充する		○			・使用した物品の整備をし、チームに迷惑をかけない ・不足した物品の補充が必要であることを伝えられるか	物品の整備・補充が速やかに行き、他者に迷惑をかけない
19	災害時対応	災害時対応マニュアルを理解し、災害発生時は指示に従い適切に行動する	○				・災害時対応マニュアルを熟読しているか ・災害時の行動についてのイメージがついているか	災害時には適切な行動をとることができる
訪問看護師としてふさわしい態度・姿勢をとることができる								
20	マナー	その場にふさわしい態度で挨拶する	○				・利用者・家族・看護職員など自らその場にふさわしい態度で挨拶することができるか	・挨拶や報告・連絡・相談する習慣など、訪問看護師として身につけるべき態度を養う
21		礼儀正しい態度や言葉遣いで家族・利用者に対応する	○				・礼儀正しい態度や言葉遣いで家族・利用者に対応することができるか	
22		来客・電話に適切に対応する	○				・来客や電話があった際、事業所の顔として、積極的に誠意を持って対応することができるか	
23	コミュニケーション	コミュニケーションを通して、利用者・家族との良好な関係をつくる	○				・訪問時に明るく笑顔で挨拶しているか ・利用者や家族との約束や契約、依頼されたことについて誠実に対応しているか	管理者や看護職員、利用者や家族などと会話の仕方や聴く姿勢、相手に自分の意見が伝えられる態度などに留意して行動する
24		利用者・家族に関する事柄について、他社に適切に発言する	○				・管理者や看護職員など他社の意見を聴く姿勢や態度をもっているか ・利用者に問題に対して意識を持って関わり、気付いた問題に対して他者に伝え理解を得ることができるか	
25		コミュニケーションを通して、利用者・家族から必要な情報を引き出す	○				・自然な会話の中で利用者・家族から必要な情報を意図的に得ているか ・気軽に必要な事をお聞けようとする関係を利用者・家族と築けているか ・情報を得ることの必要性について利用者・家族に	
26	時間管理	訪問予定時間通りに訪問する	○				・訪問予定時間に遅れずに訪問することができるか	・訪問看護師としての基本的なルールを習慣化させる
27	自己研鑽	知識・技術・態度などの不足を補うために自己学習する	○				・訪問看護師として不足している知識・技術・態度を自覚することができるか ・自己の実践を振り返り、不足している部分について、積極的に自己学習し補う努力を行っているか	訪問看護師としての自己を振り返り、知識・技術・態度を客観的に評価する
28		自分の看護活動を客観的に分析し、整理する			○		・定期的にサマリーは書いているか ・事例検討会に自分のケースを提出しているか	
29		研修活動や学会発表などに関心をもち協力する				○	・学会誌などに目をおいているか ・疑問や研究課題を課題に挙げているか ・学会や研究会に参加しているか	
30		自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題を見つける	○				・定期的な自己評価を行っているか。また、それを踏まえた学習課題を見つけているか	
31		課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する		○			・課題について必要な情報収集を行い解決に向けての行動がとれているか	
32		学習成果を自らの看護実践に活用する		○			・学習の成果を看護実践に生かしているか	
33		同僚・管理者の訪問看護に関心をもち、学ぶ姿勢がある	○				・同僚や管理者の訪問看護活動に関心を持っているか ・学ぶ姿勢があるか	
34		訪問看護師としての自分の成長と将来の発展に期待を持つ			○		・訪問看護師としての将来の夢を語っているか	
35		自分の実践を直視し、足りないところの指摘を受け入れる			○		・訪問記録を管理者や同僚に公開し、意見を求めているか ・他者からの意見を素直に受け入れられるか	
36	健康管理	日頃の健康管理に努める	○				・健康的な生活を心がけているか ・事故の感染予防に努めているか	定期的な健康診断や検診を受ける

訪問看護師としての専門的能力							
利用者・家族の生活を見ることができる							
37	生活重視	利用者・家族の価値観や生活様式を受け入れる				○	・利用者・家族の価値観や生活様式について理解し、尊重しているか
38	生活重視	治療優先でなく、生活を重視する	○				・利用者の疾患だけを捉えて看護を提供するのではなく、利用者・家族の生活も考えた看護判断ができていくか ・利用者の疾患や治療を最優先にして看護の展開を考へるのではなく、利用者が疾患や障害を抱えながら残された機能を積極的に生かし、生活全体の質(QOL)を高めていくことができるかを考へて、看護を展開する ・看護計画、実践の根拠を明確に示すことができる ・訪問看護実践を他の看護職員にも理解できるように、記載する
39	意思尊重	サービスの実施に当たり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重する				○	・利用者・家族の意思を常に尊重しているか ・利用者・家族と目標を共有しているか
40		看護者の倫理綱領を理解する	○				・普段から倫理綱領を指針として考える習慣を作る
41		利用者・家族に対する説明責任をはたす				○	・訪問時や機械を捉えて看護師として観察や判断、実施することについて利用者や家族に説明しているか
42		利用者・家族の人権や自由がおかされることに対して感知し報告する				○	・利用者・家族の尊厳に関する視点を持って観察やアセスメントを行っているか
43	家族の健康	家族の健康に気を配り、健康管理や日常生活のアドバイスをする				○	・利用者だけでなく、家族も含めて看護の対象として捉え、健康や日常生活についてアドバイスをしているか ・家族看護について基本的な学習をする ・利用者だけでなく家族も含めて看護の対象と捉える
説明することができる・聴くことができる							
44	概要説明	ステーションの概要、重要事項説明書・契約書内容・利用料金について理解する				○	・事業所のサービス内容について理解しているか ・事業所のサービス内容について、きちんと理解している
45		提供する看護の内容を事前に分かりやすく説明する				○	・訪問時や機会を捉えて看護師として観察したことや判断したこと、実施することについて利用者や家族に説明している ・訪問時に利用者や家族に対してケアに関する説明の時間をもち
46	指導助言	在宅療養に必要な教育指導を利用者・家族に行う				○	・その利用者・家族にあった方法で、在宅療養に必要な教育指導ができていくか ・利用者・家族の希望・意欲・理解度を考慮して、利用者や家族に適した指導方法を立案して実施する
47		利用者・家族からの相談に適切に対応する				○	・利用者・家族の相談事を傾聴し、適切な援助ができていくか
48	相談対応	相手の立場に立って、利用者・家族の話を聞く				○	・自然な日常の会話の中で利用者・家族から必要な情報を得ているか ・聴く姿勢を持つ ・気軽に必要なことを聞ける関係を利用者・家族と築いているか ・情報を得ることの必要性について利用者・家族に説明しているか ・日常の会話を大切に ・聴く姿勢を持つ ・情報の活用目的について理解し、利用者・家族に説明する
49	カンファレンス	利用者・家族に関する事柄について、カンファレンス等で適切に説明する				○	・管理者や看護職員など他の意見を聴く姿勢や態度を持っているか ・利用者に関心を持って関わり、気付いた問題に対して他者に伝え理解を得ることができているか ・管理者や看護職員、利用者、家族などの会話の仕方や聴く姿勢、相手に自分の意見を伝えられる態度などに留意して行動する ・訪問看護師としてできること、できないことを利用者や家族に明確に説明する ・約束したことに対しては誠実に対応する
50		利用者個別に訪問の目的を理解する	○				・個々の利用者について、訪問看護サービスを利用する目的に照らして、毎回の訪問の目的を理解し、意識しているか
51		必要な情報を収集し、具体的な目標を設定した看護計画を立てる	○				・利用者・家族について必要な情報を収集し、具体的な目標を設定した看護計画となっているか
52	訪問前準備	訪問先・訪問予定を確認して、必要な情報をもとにその日の援助計画を立てる	○				・医師の指示書やケアプランとの整合性を確認しているか ・訪問先・訪問予定を確認することができるか ・訪問予定者の必要な情報をもとにその日の援助方針に従って援助内容を計画できているか ・看護計画、実践の根拠を明確に示すことができる
53		訪問看護に必要な物品や身支度を事前に整える	○				・訪問する利用者の看護に必要な物品を訪問前に準備することができるか ・利用者の状況を踏まえて適切な身支度ができるか ・必要な物品を訪問前に準備し、身支度を整えることができる
54	療養上の世話	訪問看護計画に基づいて療養上の支援(世話)を行う				○	・個別の利用者の訪問看護計画に基づいて症状等の観察、食事の世話、清拭及び排泄の介助、生活指導などができるか
訪問看護サービスを提供することができる							
55	看護技術	訪問看護に必要な最低限の看護技術を身につける				○	・在宅看護に必要なとされる最低限の看護技術(VS測定、日常生活援助、洗滌、点滴、軟膏塗布、感染管理、吸引、モニター測定、リハビリテーション看護、経管栄養、産業挿入、在宅酸素療法、医療機器管理など)を身に付けるように職場の勉強会や外部の研修会などに参加し、努力しているか ・技術を身に付けるために積極的に同行訪問を求 ・トピックスについては、勉強会や研修会に参加し、在宅看護に必要な知識・技術・態度が身に付いているかを評価する
56	感染管理	安全に感染予防及び医療廃棄物の取扱いを行う				○	・防護用具(マスク・ガウン・手袋)等を適切に使用し感染予防に努めているか ・医療廃棄物が出た場合、決められた方法で処理することができるか ・感染管理についての知識を得て、安全に実践できる
57	環境整備	利用者の居室の生活環境(光、音、温度等)を整備する	○				・利用者が快適・健康に生活できるよう、居室の生活環境(光、音、温度等)を整備し、家族にも説明しているか
58		訪問後の物品片付け、衛生管理を行う	○				・訪問後に物品を片付けや衛生管理、不足があれば補充、調達するなどの対応ができていく
59	訪問後対応	訪問後に事業所内・他機関に報告・申し送りをする	○				・訪問後に、事業所内の管理者や他の訪問看護師、さらには介護支援専門員等事業所外の関係者に必要事項の申し送りができるか ・事業所の一員として、またチームケアの一員として、訪問後に必要な対応し、次回以降の訪問に備えることができる
60	安心・安全	利用者・家族の安心・安全・安楽を念頭に置いてケアを提供する				○	・看護実践の際に、利用者・家族が安全、安心、安楽であるかを考へながら行っているか ・利用者・家族が安心して訪問看護サービスを受けることができるように、常に意識して看護を提供できる
61		緊急時の手当ての方法、連絡方法を理解する				○	・重大性、緊急性を的確に判断し対処・報告できるか ・主治医に連絡するなど状況に応じて対処する
62	夜間対応	訪問看護ステーションの利用者全体の状況を理解し、夜間の携帯当番を担当する				○	・利用者全体の状況を理解しているか ・夜間の当番を担当し、対応ができるか
63	判断	全身状態や生活の仕方、利用者の反応等を総合的視野から状況判断する				○	・全身状態や生活の仕方、利用者の反応等を総合的視野から状況判断できているか
64	予防	利用者の病態から予測される問題に予防的に対処する				○	・予測される問題をリストアップできるか ・問題に対して必要な予防策を挙げ対処しているか ・利用者・家族が安心して訪問看護サービスを受けることができるように、常に意識して看護を提供できる

地域の他機関の機能を理解し、連携することができる									
66	地域の理解	地域の保健医療福祉機関・サービスを把握する		○			・地域において連携先となる保健福祉機関・サービスの窓口や担当者などを把握しているか	地域の他機関、他職種について、個別のケースにおける連携先として認識するだけでなく、地域ネットワークにおける相互の位置づけや役割、関係性について理解し、尊重しあうことができる	
67		地域の中での訪問看護ステーションの役割を理解する				○	地域の他の機関や職種と連携において、訪問看護ステーションの位置づけや果たすべき役割について、理解できているか		
68		地域内の他機関・他職種の専門性を理解し、尊重する					○		・他の機関や職種の役割や専門性を理解し、尊重することができるか
69	地域連携	訪問看護の経過等を必要時、主治医に正確に報告・相談する				○	定期的、及び変化やその予兆があった場合に、訪問看護の経過等を主治医に正確に報告・相談しているか	・ケアチームで支援していることを念頭に置く ・関係職種・機関への報告、連絡、相談が必要な状況を管理者や同僚に確認する	
70		利用者の入退院時に、医療機関・その他の機関と連携する				○	利用者の入退院時に、医療機関・その他の機関と連携して、必要な情報提供や調整を行っているか		
71		介護支援専門員と連携・調整を行う					○		利用者の状況、状態変化などについて、介護支援専門員と随時情報共有し、必要に応じてケアプランの見直しなどに つなげているか
72		その他の関係機関との連携や調整を行う					○		・ケアチームで支援していることを説明できるか ・関係職種・機関に対して報告・連絡・相談が必要な状況がわかっているか ・緊急性を判断し、状況に応じて連携できるか
情報管理を適切にすることができる									
73	記録	訪問看護記録・報告書・計画書を適切に書く	○				訪問看護記録・報告書・計画書について、必要な事項をもれなく正確に書いているか	記録等作成の目的や重要性を理解し、目的に沿って適切な記述ができるようになる	
74		訪問後、速やかに訪問記録をつける	○				訪問看護記録を一両日中に正確に記載することができるか		
75	個人情報	個人情報保護の必要性を理解し、情報を適切に管理する	○				・個人情報保護の必要性を説明できるか ・守秘義務を果たしているか ・得られた個人情報が外部に漏洩しないよう留意しているか ・ケア会議などで他者に情報を提供する場合は、利用者・家族に同意を得ているか	・利用者・家族の尊厳を重視した情報の取扱いや関わり方ができる	
76		利用者に対し、適切な情報提供を行う	○				・利用者に対し、適切な情報提供を行っているか		
77		プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱う				○	・プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱っているか		
78		看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する。	○				・看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成しているか		
79		情報を整理し適切に保管、活用する	○				・事業所内で情報を共有できるように整理されているか ・個人情報は鍵のかかる場所に保管されているか ・必要な情報は速やかに引き出すことができるか		
80	組織としての個人情報流失に配慮し、適切に管理する。	○					・個人情報保護の観点から記録やメモ、電子媒体の取り扱いに留意しているか ・職場外での会話に留意しているか		